

7. 実施スケジュール

目黒川の水質改善対策の実実施スケジュールは数値シミュレーションの結果を踏まえ、表 16 のとおりとする。

また、モニタリングと合わせた各施策の実実施スケジュールを表 17 に示す。

表 16 水質改善対策の実実施スケジュール

期間区分	実施内容
既存対策の検討・継続	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 再生水導水 ➤ 河床整正・浚渫（フーチング洗浄を含む） ➤ 雨水浸透の拡大
短期対策 （概ね 5 年後までに実施）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ア. 高濃度酸素溶解水供給施設の整備 ➤ 河床浚渫に必要なモニタリングの実施 ➤ イ. 初期越流水貯留施設の整備 ➤ 部分分流化の推進
中期対策 （概ね 10 年後までに実施）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ウ. 効果的な浚渫の実施 ➤ イ. 初期越流水貯留施設の整備（機能拡大） ➤ 部分分流化の推進
長期対策	<p>今後継続して実施するモニタリング結果を踏まえた追加対策の検討、必要に応じて追加対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 高濃度酸素溶解水供給施設の増設 ➤ 海水導水施設の整備

表 17 各対策の実施スケジュール

I 水質浄化目標と達成スケジュールについて

長期目標
 大気中の硫化水素濃度「0.06ppm以下」
 (達成率100%)

短期・中期目標
 大気中の硫化水素濃度「0.2ppm以下」
 (達成率100%)



II 水質浄化対策とスケジュールについて

区分	水質浄化対策	上段：令和年度 下段：年数											
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
P D C A	対策計画作成・見直し	計画立案											計画見直し等
	モニタリング			毎年実施									
	検討会（進行管理・効果検証）			毎年開催									再検討
	追加対策の検討												検討
河川内対策	再生水導水	継続											
	河床整正・浚渫	継続											
	ウ. 効果的な浚渫の実施【新規対策】		効果的な浚渫の実施に向けたモニタリング					実施範囲や手法等の検討・実施					
	ア. 高濃度酸素溶解水供給施設の整備【新規対策】		基本設計	実施設計	施工								
対流策域	雨水浸透の拡大			毎年実施									
	イ. 初期越流水貯留施設の整備【新規対策】		初期越流水貯留施設の整備					初期越流水貯留施設の整備（機能拡大）					
	部分分流化の推進			随時実施									
その他	情報発信、意見聴取など			毎年実施									

※状況により変更することがあります。